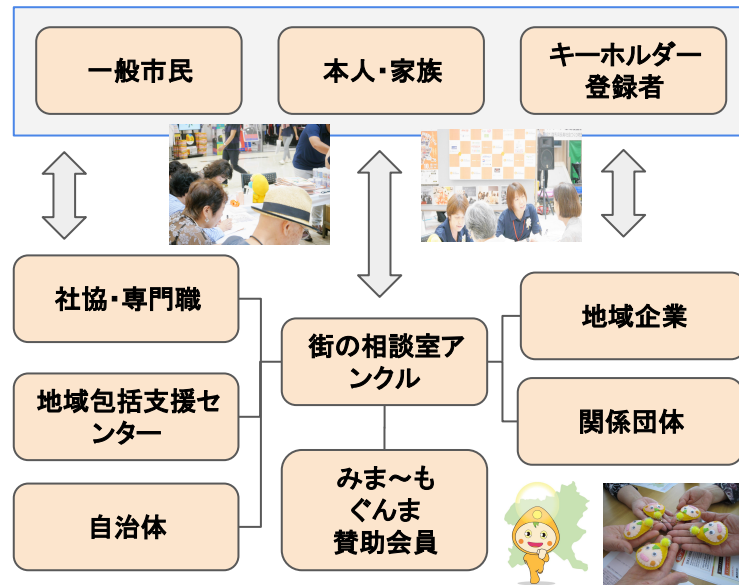


## 2-4 認知症介護指導者としてのその他の活動

# 「誰に相談してよいかわからないをなくす」を理念に

【活動概要】認知症サポート医、弁護士、社会福祉士（認知症介護指導者）らにより「認知症予防・支援」「成年後見相談支援」「地域づくり」を活動の三本柱とし一般社団法人を設立。医療機関に隣接する場に「街の相談室アンクル」を愛称にした相談室を設置。元気シニアまでを対象とした「見守りキーホルダー」活動と大田区大森発祥の「みま～も」の取り組みを暖簾わけいただき、定期的なセミナーや地域活動を実施。活動へは、地域企業や団体から協賛をいただくとともに、地域の支援ネットワークの構築も勧めている。

| 相談の一部事例                  | 相談者 |
|--------------------------|-----|
| 認知症が疑われる人の金融機関手続きの注意点、支援 | 専門職 |
| ケアマネジャーや施設選びのポイント        | 家族  |
| 成年後見制度利用やその他のサービス利用について  | 専門職 |
| 虐待事案における養護者の相談、サポートについて  | 行政  |
| 親子二人世帯の今後の暮らしについての相談     | 本人  |



## 2-4 認知症介護指導者としてのその他の活動

# 認知症地域支援推進員と協働による太田市認知症ケアパス冊子作成の取り組み ～地域のつながりを深めるきっかけにしていきたいために～

【活動概要】太田市の認知症支援に係る事業として「認知症ケアパス冊子」の作成を、太田市より認知症介護指導者が依頼を受け、認知症地域支援推進員との協働により、認知症サポート医や家族の会など地域の関係機関、団体の意見を踏まえ、「太田市認知症ケアパス冊子」を作成配布する。

### 取り組みの背景・きっかけ

◇医師、弁護士、認知症介護指導者（社会福祉士）による認知症等の相談支援や地域づくりを目的とした法人を4年前に設立。地域ケア会議や関係機関からの個別支援の相談等を受けてきたこと、既に支援に係るネットワーク構築などももつことから今回の取り組みに至った。  
認知症支援のネットワークがないため、その構築も期待される。

### 取り組みの発展と成果

2018.6～ 認知症ケアパス冊子作成事業

□認知症地域推進員との作業部会  
（今後予定）

認知症サポート医から作成への助言  
認知症の人と家族の会群馬県支部からの助言  
若年認知症家族の会ぐんまからの助言  
群馬県認知症コールセンターからの助言

2018.11 冊子作成し、配布。

今後、認知症支援に関係する情報発信のためのホームページなどの作成も検討している。

◆認知症地域支援推進員と本事業を通じて、地域へのアクションイメージを共有する機会となる。

◆認知症支援に携わる専門職や団体とのネットワーク構築としての動機づけ。

◆支援者の相談を受ける体制づくりにつなげることができる。



## 2-4 認知症介護指導者としてのその他の活動

# 太田市の認知症地域支援におけるアドバイザー ～認知症介護指導者としての地元行政との協働～

【活動概要】自治体が行う認知症施策において、専門的な視点から必要な助言、指導、提案等の支援を行い、市内各地息の多様な地域特性や実情に沿った事業を推進することを目的としている。

### 取り組みの背景・きっかけ

◇認知症地域支援・ケア向上事業を自治体が具体的な実施を進めていく上で、既に抱えている支援上の課題や予防的な取り組みを行う等において、地域特性などを理解しながら現実的に即した支援体制が整備していけるよう各専門職や機関との連携や事業実施において、行政として関係機関からの助言、指導をいただいていることに加えて、個別事例等の支援などについて相談、指導、提案を必要とし、認知症介護指導者が所属する法人の活用に至った。

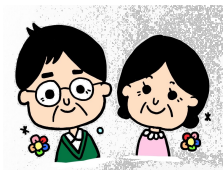
### 具体的な取り組みについて

2018.8～ 業務委託契約

主な内容

- ◇認知症ケアや困難事例対応への助言と提案
- ◇認知症の予防とケアの普及啓発への支援
- ◇認知症多職種協働研修実施のための支援 他

当法人では、年間の相談件数に対して約2/3が行政関係、相談支援機関からの相談があり、支援を行う上で必要な情報提供を進めてきた結果として、このような契約に至った。認知症介護指導者が、認知症支援において行政との協働が促進される一助になればと考える。



◆認知症介護指導者の所属する法人が行政の認知症施策への助言等を行う。

◆認知症支援に携わる人たちとの連携を促進し、具体的な活動をコーディネート

◆地域の特性を理解した上での事業実施提案。